

SDGs 先進都市の実現に向けて



2020年10月28日
大阪府 政策企画部 企画室

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs について





SDGs について

“Sustainable Development Goals”（持続可能な開発目標）

- 「**持続可能な開発のための2030年アジェンダ**」に記載（2015年9月 国連総会で採択）
- **2030年までの国際目標**。発展途上国のみならず先進国を含め全世界で取り組む。
- 持続可能な世界を実現するための**17のゴール（目標）**、**169のターゲット**から構成





SDGs について





SDGs は世界共通言語



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	



2030 アジェンダ

2015年9月25日第70回国連総会で採択

我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ（抜粋）

仮訳

前文

このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画である。これはまた、より大きな自由における普遍的な平和の強化を追求ものでもある。

我々は、極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり、持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する。

すべての国及びすべてのステークホルダーは、協同的なパートナーシップの下、この計画を実行する。我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放し、地球を癒やし安全にすることを決意している。**我々は、世界を持続的かつ強靱（レジリエント）な道筋に移行させるために緊急に必要な、大胆かつ変革的な手段をとることに決意している。**

我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、**誰一人取り残さない**ことを誓う。

今日我々が発表する17の持続可能な開発のための目標（SDGs）と、169のターゲットは、この新しく普遍的なアジェンダの規模と野心を示している。これらの目標とターゲットは、ミレニアム開発目標（MDGs）を基にして、ミレニアム開発目標が達成できなかったものを全うすることを目指すものである。これらは、すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等とすべての女性と女兒の能力強化を達成することを目指す。

これらの目標及びターゲットは、統合され不可分のものであり、持続可能な開発の三側面、すなわち経済、社会及び環境の三側面を調和させるものである。

これらの目標及びターゲットは、人類及び地球にとり極めて重要な分野で、向こう15年間にわたり、行動を促進するものになる。



2030 アジェンダ (ターゲット)

(参考)

ゴール6 「水・衛生」のターゲット



目標6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

- 6.1 2030年までに、すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成する。
- 6.2 2030年までに、すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女子、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を向ける。
- 6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物質や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模での大幅な増加させることにより、水質を改善する。
- 6.4 2030年までに、全セクターにおいて水の利用効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。
- 6.5 2030年までに、国境を越えた適切な協力を含む、あらゆるレベルでの統合水資源管理を実施する。
- 6.6 2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼などの水に関連する生態系の保護・回復を行う。
- 6.a 2030年までに、集水、海水淡水化、水の効率的利用、排水処理、リサイクル・再利用技術など、開発途上国における水と衛生分野での活動や計画を対象とした国際協力と能力構築支援を拡大する。
- 6.b 水と衛生に関わる分野の管理向上への地域コミュニティの参加を支援・強化する。



SDGsの主要原則

- 普遍性（国内実施と国際協力の両面で）
- 包摂性（誰一人取り残さない）
- 参画型（国、自治体、企業、市民まで）
- 統合性（経済、社会、環境の統合性）
- 透明性と説明責任（定期的な評価、公表）



持続可能な開発の3つの側面



統合的取組みによる部分最適から**全体最適**へ
統合的取組みによる**トレードオフ問題の緩和**
統合的取組みがもたらす**相乗効果**



SDGs のもう一つの捉え方～5つのP～

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任 		
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう

16 平和と公正をすべての人に





SDGsの達成状況（世界との比較）

～SDGs達成度上位20カ国～

2019年

順位	国名	スコア	順位	国名	スコア
1	デンマーク	85.2	11	ニュージーランド	79.5
2	スウェーデン	85.0	12	スロベニア	79.4
3	フィンランド	82.8	13	イギリス	79.4
4	フランス	81.5	14	アイスランド	79.2
5	オーストリア	81.1	15	日本	78.9
6	ドイツ	81.1	16	ベルギー	78.9
7	チェコ	80.7	17	スイス	78.8
8	ノルウェー	80.7	18	韓国	78.3
9	オランダ	80.4	19	アイルランド	78.2
10	エストニア	80.2	20	カナダ	77.9

2020年

順位	国名	スコア	順位	国名	スコア
1	スウェーデン	84.7	11	ベルギー	80.0
2	デンマーク	84.6	12	スロバキア	79.8
3	フィンランド	83.8	13	イギリス	79.8
4	フランス	81.1	14	アイスランド	79.4
5	ドイツ	80.8	15	スイス	79.4
6	ノルウェー	80.8	16	ニュージーランド	79.2
7	オーストリア	80.7	17	日本	79.2
8	チェコ	80.6	18	ベラルーシ	78.8
9	オランダ	80.4	19	クロアチア	78.4
10	エストニア	80.1	20	韓国	78.3



行動の10年がスタート

- 2020年に“行動の10年がスタート”
- あらゆるステークホルダーの具体的なアクションを積み重ね
2030年へ

『SDGsアクションプラン2020』のポイント

- 日本は、豊かで活力のある「誰一人取り残さない」社会を実現するため、一人ひとりの保護と能力強化に焦点を当てた「人間の安全保障」の理念に基づき、世界の「国連持続可能な開発目標（SDGs）」を本格的に担い、日本の姿を国際社会に示す。
- 『SDGsアクションプラン2020』では、改定されたSDGs実施指針の下、今後の10年を2030年の目標達成に向けた「行動の10年」とすべく、2020年に実施する政府の具体的な取組を盛り込んだ。
- 国内実施・国際協力の両面において、次の5本柱を中核とする「日本のSDGsモデル」の展開を加速化している。

<p>I. ビジネスとイノベーション ～SDGsと連動する「Society 5.0」の推進～</p>	<p>II. SDGsを原動力とした地方創生、 強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり</p>	<p>III. SDGsの担い手としての 次世代・女性のエンパワーメント</p>
<p>ビジネス ▶ <u>企業経営へのSDGsの取り込み及びESG投資を後押し。</u> ▶ 「Connected Industries」の推進</p>	<p>地方創生の推進 ▶ <u>SDGs未来都市、地方創生SDGs官民連携プラットフォーム</u>を通じた民間参画の促進、<u>地方創生SDGs国際フォーラム</u>を通じた普及展開</p>	<p>次世代・女性のエンパワーメント ▶ <u>働き方改革</u>の着実な実施 ▶ あらゆる分野における<u>女性の活躍推進</u> ▶ <u>ダイバーシティ・パリアフリー</u>の推進</p>

国が設置する“SDGs推進本部”のアクションプランにも「行動10年」に政府が取組む具体的活動を位置づけ

SDGs と大阪





SDGs と大阪の親和性

○開放性

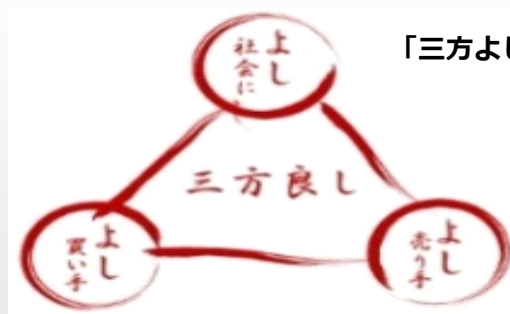
大阪は、国内外の玄関口として、日本の重要拠点として、内外から多くの人やモノを受け入れ、様々な知識や技術を取り入れながら発展



G20大阪サミット

○社会貢献

「三方よし」、「水道哲学」に代表されるように、社会貢献、公利公益の精神を重んじる気質



「三方よし」近江商人



松下幸之助の語録に基づく
経営哲学「水道哲学」

○先取

大阪人は進取の気質に富み、世界標準となる新たな社会システムや、産業、製品等を数多く生み出してきた。

先物取引市場



※出典：大阪市立図書館HP

サントリー創業者
鳥井信治郎の言葉
「やってみなはれ」



※出典：サントリーグループHP



大阪でのSDGsのスタート





SDGs と大阪・関西万博

SDGs

将来像

SDGsが達成された社会

理念

- ◆ **誰一人取り残さない**
- ◆ **将来世代のニーズを損なうことなく、今の世代のニーズを満たす**

達成ポイント

先端技術を活用した社会課題の解決

特徴

持続可能な社会の実現に向け、世界の大胆な変革が必要となることを、全ての国連加盟国が採択
(人類の英知の結集)

目標年限

2030年

大阪・関西万博

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

Saving Lives (いのちを救う)
Empowering Lives (いのちに力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト

**People's Living Lab
(未来社会の実験場)**

特徴

地球規模のさまざまな課題に取り組むために、**世界各地から英知を集める場**

開催時期

2025年

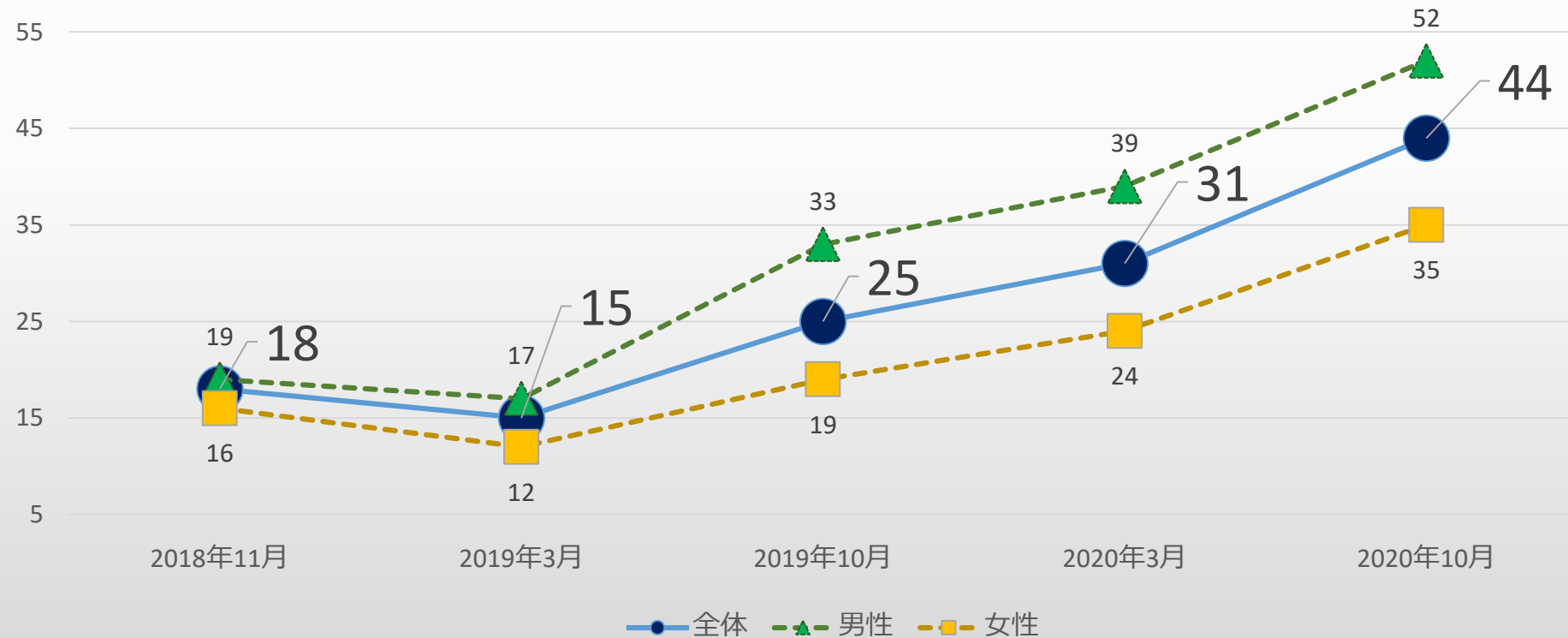


大阪におけるSDGsの認知度

■SDGs認知度（大阪）

府民全体の認知度は、44%（2020年10月時点）

単位：%



大阪府のネット調査（大阪Qネット）を活用して、府民を対象にSDGsの認知度を調査
（対象者条件：18歳以上の男女、サンプル数：1,000名）



2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)

- ◆**テーマ**：いのち輝く未来社会のデザイン
“Designing Future Society for Our Lives”
- ◆**開催期間**：2025年4/13～10/13(184日間)
- ◆**開催場所**：夢洲（大阪市臨海部）
- ◆**入場者（想定）**：約2,800万人
- ◆**経済効果**：約2兆円



出典：経済産業省パンフレット

O s a k a S D G s ビジジョン

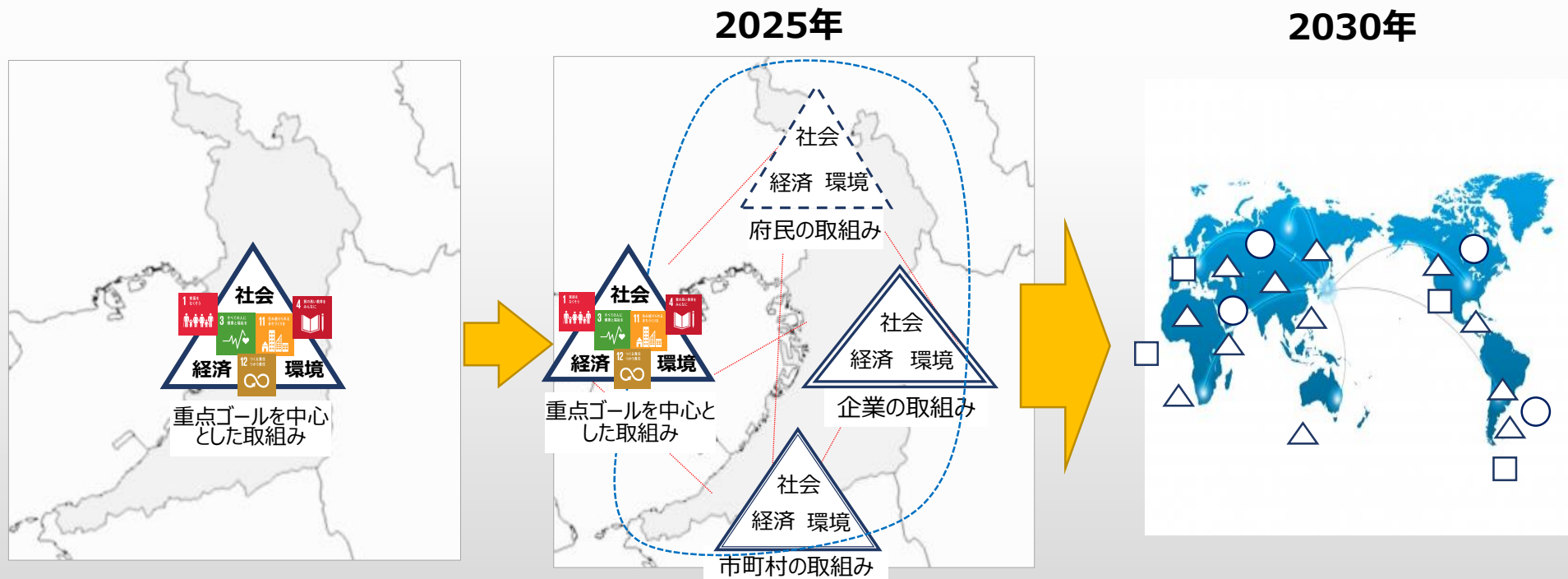




SDGs 先進都市に向けて

SDGs先進都市 ⇒ 世界の先頭に立ってSDGsの達成に貢献

誰もがSDGsを意識し、一人ひとりが自律的にSDGsの達成をめざす大阪を実現

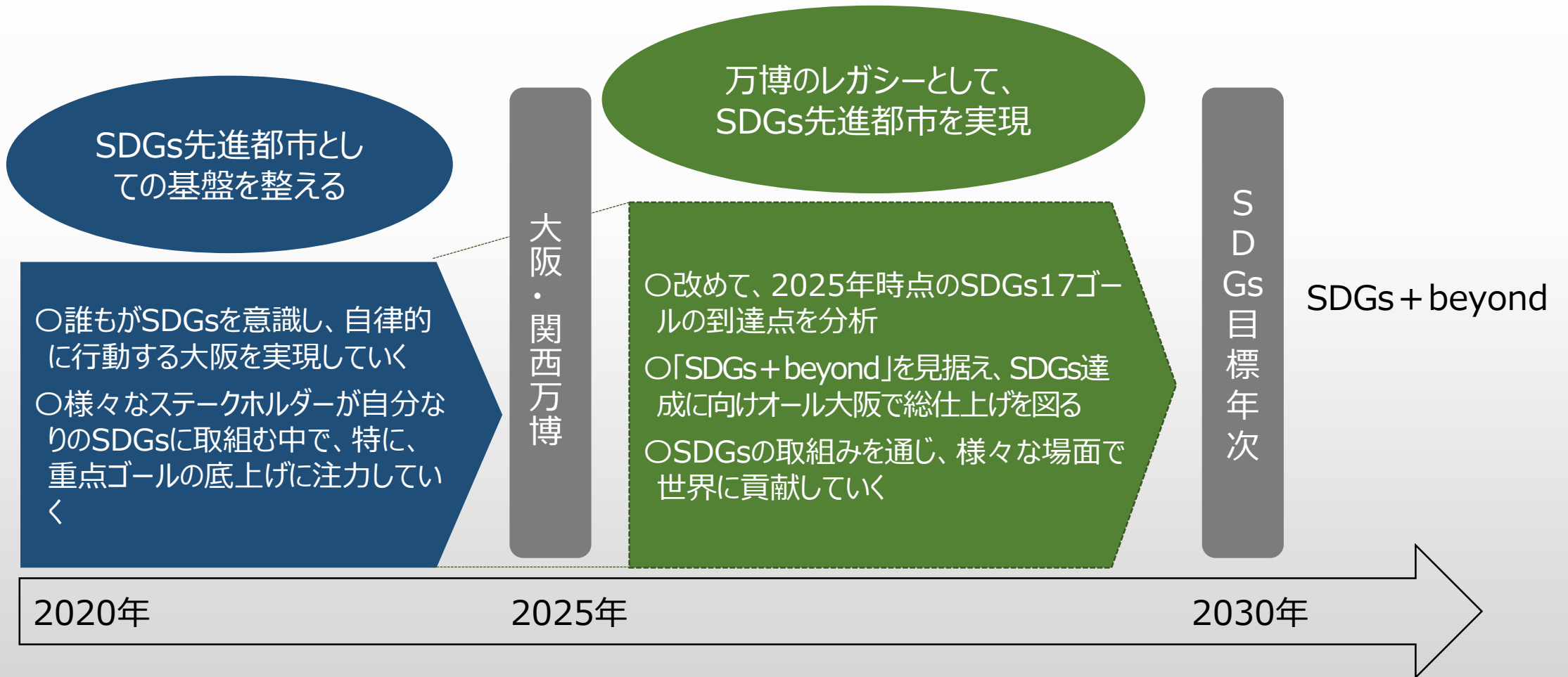


万博において、大阪のあらゆるステークホルダーが、会場の内外でSDGsを体現し、行動する姿を世界に発信

日本全体や世界とのつながりの中で、先頭に立って、世界とともにSDGsを達成する



取組工程





4つの視点

2025年大阪・関西万博に向け、健康や福祉、農業、環境、エネルギー、人権、ジェンダーなど、17のSDGs全てを俯瞰しながら、特に、次の4つの視点から絞り込んだ「重点ゴール」に注力していく。

視点1

SDGs17ゴールの
現在の到達点の分析

「国際的な日本の評価」と「国内評価」を一つの拠り所に、SDGs17ゴールの現在の到達点の分析し、大阪の立ち位置を把握

視点2

府民や企業が重要と
考えるゴールの把握

府民や若者、企業に関心・期待が高いゴールを把握し、様々なステークホルダーの自律的な取り組みの広がりにつなげる

視点3

府の政策や大阪の
ポテンシャル

万博やG20、府政運営の基本的な方針などの府の政策や、大阪のポテンシャルを踏まえることで、強みを活かし、弱みを克服していく

視点4

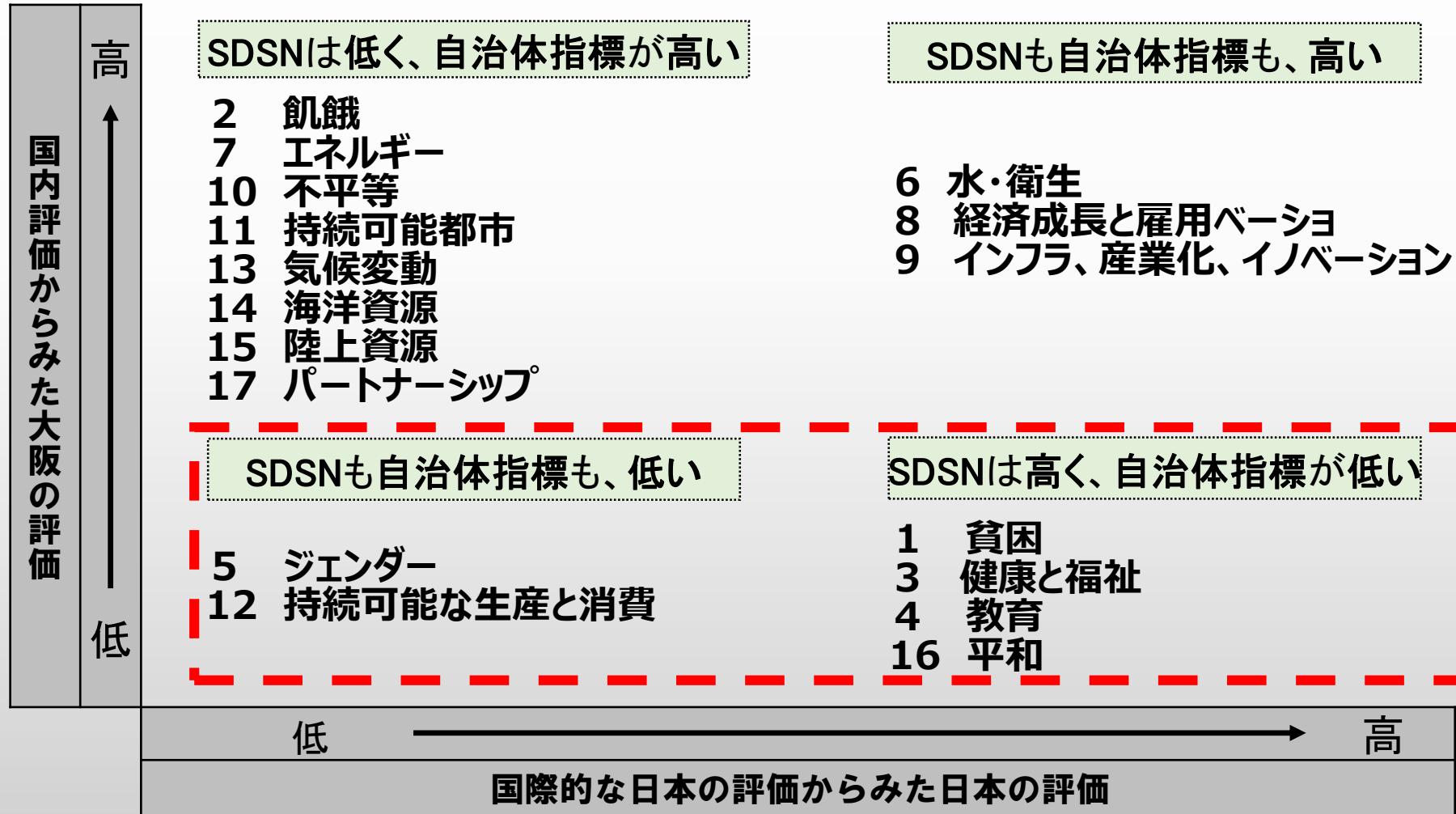
世界の動きを
視野に入れる

大阪と世界とのつながりや、世界のSDGs先進国の特性などを踏まえ、グローバルな視点で取り組む



大阪の現状と課題

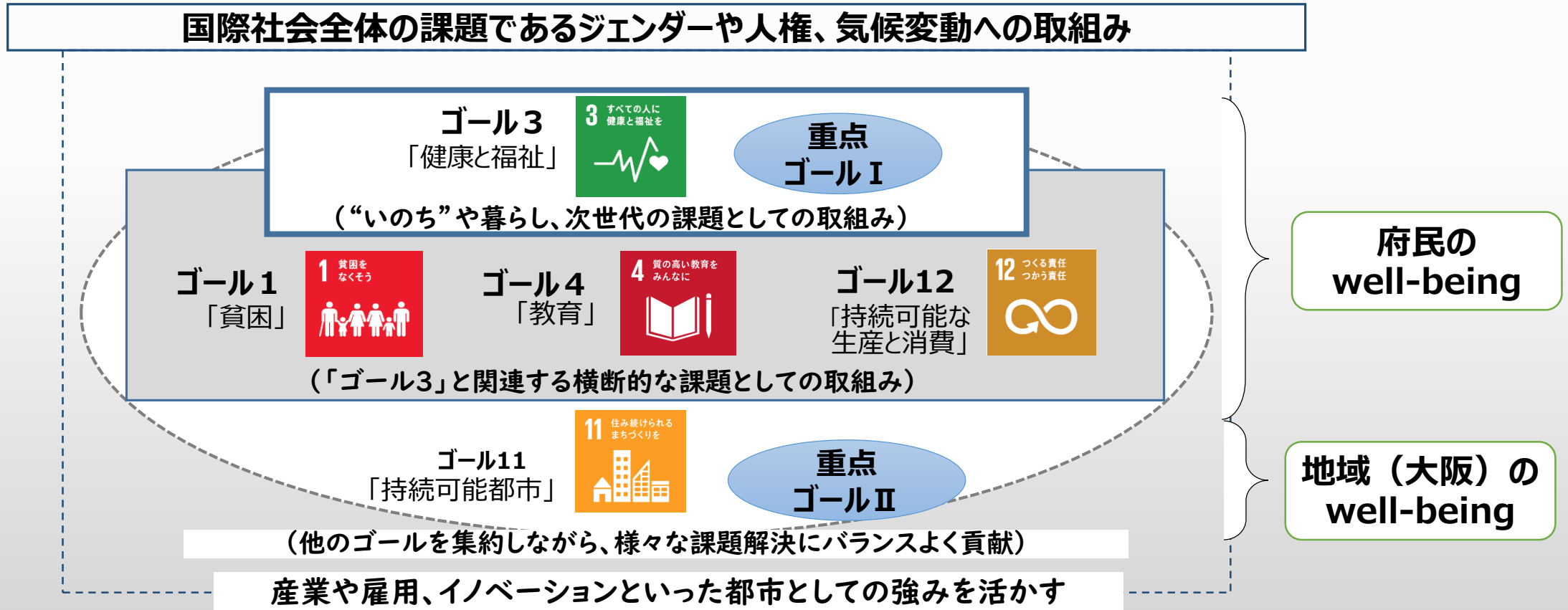
「国際的な日本の評価（SDSN）」と「国内評価（自治体SDGs指標）」から分析した大阪の評価





重点ゴール

◆2025年大阪・関西万博に向けて取り組む「重点ゴール」



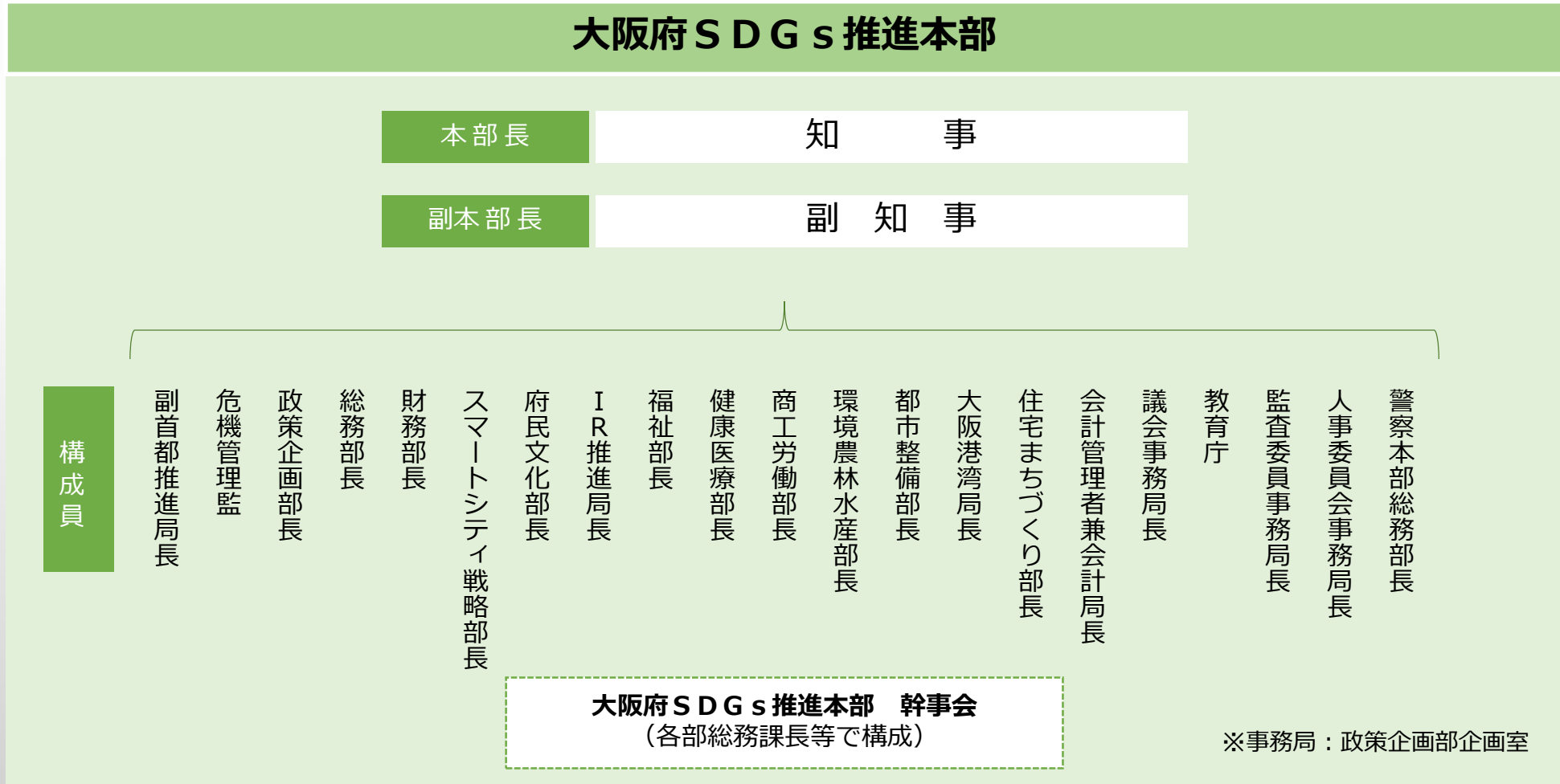
大阪府の推進体制





大阪府SDGs推進本部

2018年（H30）4月：知事を本部長とする「大阪府SDGs推進本部」を立ち上げ



SDGsの進め方（例）

~企業によるSDGs~

SDGs Compass SDGsの企業行動指針より（GRI、国連グローバル・コンパクト、WBCSD作成）



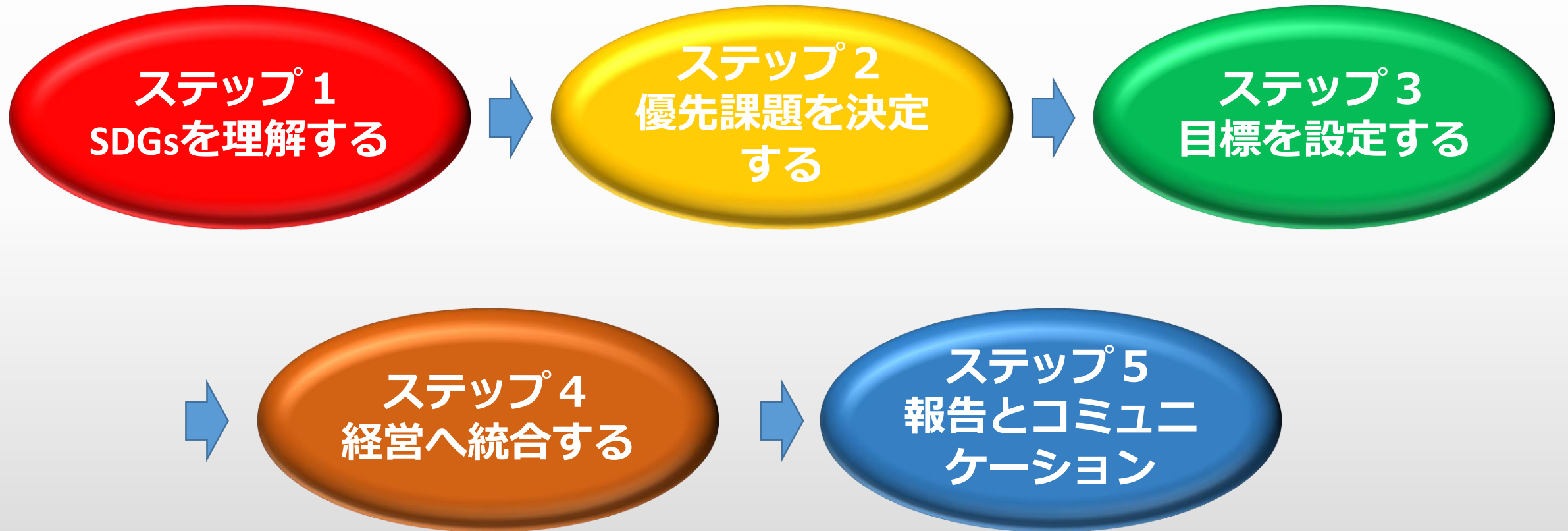


SDGs に取り組む多様なメリット

- 将来のビジネスチャンスの見極め
- 企業の持続可能性に関わる価値の向上
- ステークホルダーとの関係の強化
- 社会と市場の安定化
- 共通言語の使用と目的の共有



SDGsの進め方



まずは、自社の事業活動とSDGsの17ゴールが紐付いてないか確認を



これまでの取組み



SDGs 未来都市





SDGs 未来都市

地方創生に向け、**SDGsの達成に資する優れた取組みを提案する自治体を「SDGs未来都市」として**、また、未来都市提案書に記載された事業のうち、**特に先導的な事業を「自治体SDGsモデル事業」として選定する制度**
(2018年度から内閣府が実施)

※2024年末までに累計210都市が選定される予定

選定状況

	未来都市 選定件数	(うち、モデル事業)	府域の選定状況	未来都市	モデル事業
2018年度	29都市	(10事業)	堺市	○	
2019年度	31都市	(10事業)	府域での選定なし		
2020年度	33都市	(10事業)	大阪府・大阪市 (共同)	○	○
			豊中市	○	
			富田林市	○	○
計	93都市	(30事業)			



SDGs 未来都市計画 (大阪府・大阪市)

タイトル

2025年大阪・関西万博をインパクトとした「SDGs先進都市」の実現に向けて

SDGs未来都市 計画概要

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げる大阪・関西万博の開催都市として、行政だけでなく、府民や企業、市町村、金融機関、経済界などあらゆるステークホルダーとの連携を広げつつ、2030年のあるべき姿に向け、一人ひとりがSDGsを意識し自律的に行動する「SDGs先進都市」の実現をめざす。





2030年のあるべき姿

①いのち輝く幸せな暮らし（Human Well-being）

- ・健康や福祉など、人々の命や暮らしに関わる様々な社会課題の解決に向けた行動を、未来社会に向け呼びかけていくことが求められる。
- ・こうした考え方のもと、**誰もが取り残されることなく**、すべての命が大切にされ、人と人とのつながりの中で、全ての人が生涯にわたって、自らの能力や可能性を発揮し、**健康でいきいきと活躍できる社会の実現をめざしていく**。

②多様なチャレンジによる成長（Diverse Innovation）

- ・ライフサイエンスやものづくりなど強みとなる産業の成長とバランスの取れた産業構造が安定した大阪経済の成長の土台となっており、近年は、輸出額の増加やインバウンドの増勢に伴い経済は回復傾向にある。
- ・こうしたポテンシャルを活かし、都市の魅力や寛容性を高め、**多様な人材を呼び**、様々なことにチャレンジできる環境を整え、**新たな価値観やイノベーションの創出を図るとともに、地球環境を守る取組みを進めることで、持続的な成長に向けた取組みを推進していく**。

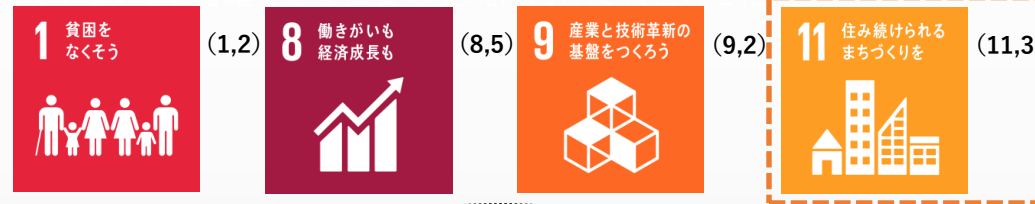
③世界の未来をともにつくる（Global Co-Creation Hub）

- ・世界では、地球規模での環境問題のほか貧困などの追加的課題が進行。また、科学技術の急速な発展は、社会課題を解決する重要な力ギとなる反面、不平等や格差の拡大など負の側面を招く恐れがある。
- ・世界各地の叡智が集まり、世界のベクトルを一つにできる万博開催都市として、誰もが世界とつながり、SDGsの価値観が大阪から世界に広がり、人々に共有され、「**ひとを救い、地球を守る**」、**ソーシャルグッドな取組みを推進していく**。



2030年のあるべき姿と優先ゴール

17のSDGs全ての達成をめざす中で、とりわけ、課題を克服すべきゴールや世界に貢献できるゴール（※重点ゴール）に注力
※OSAKA SDGs ビジョンにおける重点ゴール（ゴール3：健康と福祉、ゴール11：持続可能都市）



経済

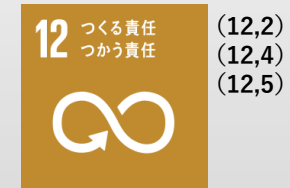
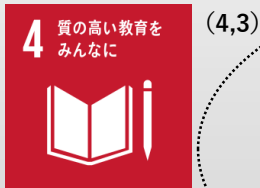
- ・都市の強みを活かしながら勤労世帯の家計所得を底上げ
- ・社会課題の解決や生活の質の向上など、スマートシティ化

社会

- ・生涯を通じ健康で、自らの意思に基づき活動できる社会
- ・持続可能な社会の創り手としての子どもたちの学力向上

環境

- ・2050年のCO2排出量実質ゼロをめざす
- ・「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の早期達成に貢献





自治体SDGsモデル事業

モデル事業の取組概要（大阪発「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進プロジェクト）

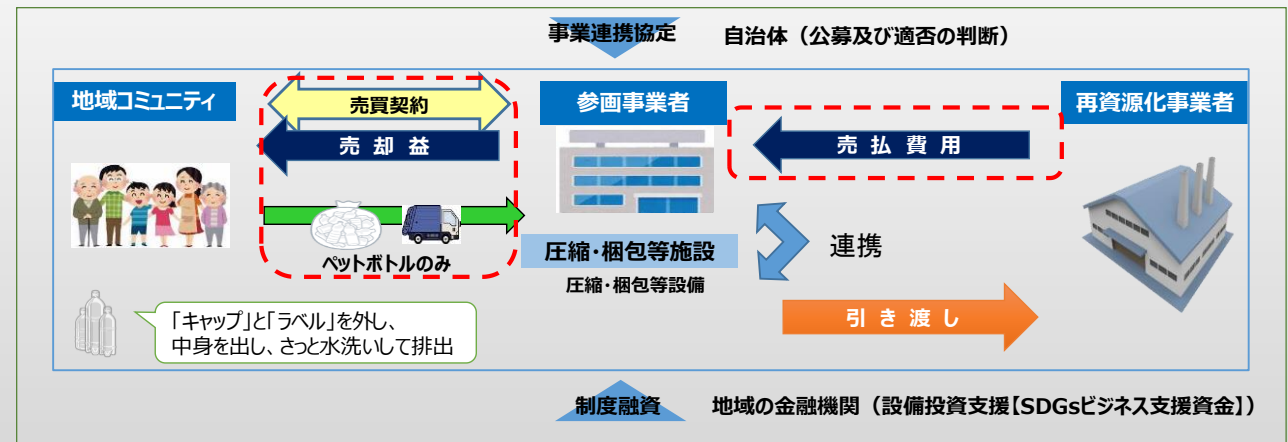
日本で初めて開催された「G20サミット」（G20大阪サミット）の象徴的レガシーである「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン（※）」を先導する取組みとして、プラスチックごみ問題解決に向け、経済、社会、環境の三側面から、3R（リデュース、リユース、リサイクル）などの普及啓発や、海岸漂着ごみの実態調査、海ごみの回収などを府域全体で幅広く実施する。

（※）2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにすることをめざす世界共通のビジョン

◇「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進事業

特に、三側面をつなぐ統合的取組を、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進事業と銘打ち、ビジョンの実現等に貢献するための計画を策定し、同計画に基づき「新たなペットボトル回収・リサイクルシステム」を推進するとともに、大阪の取組みを国内外に情報発信する。

「新たなペットボトル回収・リサイクルシステム」事業スキーム



その他の取組み





SDGs 啓発イベント



大阪商工会議所とのコラボレーションイベントの様子
府内中小企業向けSDGs啓発イベント「おっ！SakaまるごとSDGs」



SDGs 啓発イベント



大阪商工会議所とのコラボレーションイベントの様子
府内中小企業向けSDGs啓発イベント「おっ！SakaまるごとSDGs」



ジャパンSDGsアワード

第3回「ジャパンSDGsアワード」SDGs推進副本部長（内閣官房長官）賞（令和元年12月）



「Osaka SDGsビジョン」策定にあたり、大阪府の現状把握に向け確立した「自己分析モデル」が、他の自治体にとっても汎用性がある点を評価いただきました。

出典：首相官邸ホームページ



SDGs 普及活動

～阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト～「SDGsトレイン未来のゆめ・まち号」において、大阪府が、SDGsのゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」をテーマとしたポスターを掲示





大阪府のSDGsビジネス支援

チャレンジ応援資金 (SDGsビジネス支援資金)

【概要】

SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みに関する事業計画を策定し、計画の実行に取り組む府内中小企業に対し、必要な資金を融資



大阪府 制度融資



SDGs Business Meet-Up2020

- 【対象】 SDGsビジネスを検討している府内企業
- 【概要】 ビジネスマッチング、商談会の開催等
- 【主催】 大阪府

開催スケジュール（予定含む）

第1回 (8/27)	公的支援	SDGsビジネスに対する支援スキームを持つ公的機関とのマッチング
第2回 (9月頃)	民間支援	SDGsビジネスに対する支援スキームを持つ民間企業とのマッチング
第3回 (11月頃)	共同研究	自社で賅えないリソース等を提供可能な研究機関（大学等）とのマッチング
第4回 (1月頃)	業務提携	自社で賅えないリソース等を提供可能な民間企業とのマッチング
第5回 (2月頃)	資金調達 (海外・国内)	SDGsビジネスに対し融資、投資できる海外ファンド、金融機関等とのマッチング

Osaka SDGs Business Meet-Up2020



企業・団体の取組み紹介



Dari K (ダリケー) 株式会社

～「カカオ」を通して世界を変える-努力が報われる社会に-～



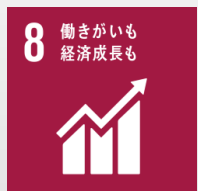
<カカオ豆の栽培からチョコレートの製造・販売までを一貫して実施>



カカオの生産量世界第3位であるインドネシアで、高品質なカカオ豆作りに必要不可欠な発酵技術を指導し、直接買い取ることで、生産者の所得向上を実現



カカオのほか、トロピカルフルーツなども一緒に栽培する方法（アグロフォレストリー農法）を指導し持続的な土地利用を実現



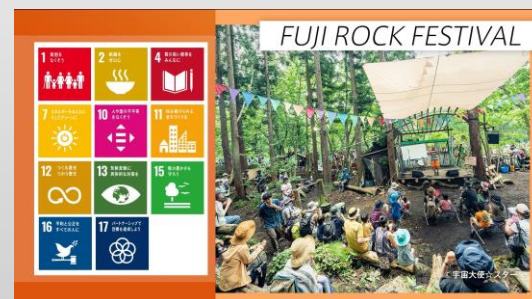
カカオ農園ツアーを開催し、生産者と消費者の交流を行い、生産者の働きがい、やる気をアップ

◆「三方良し」のビジネスモデルの実現

【主なメリット】

- | | |
|------------|---|
| (1) 生産者 | 高品質なカカオの栽培・加工技術の習得と所得の向上 |
| (2) Dari K | 高品質なカカオ豆の確保、美味しさとストーリー性の実現によるブランド化、販路拡大 |
| (3) 消費者 | 美味しいチョコレートを楽しみながら、社会にも貢献できる |





FM802とFM COCOLOは、SDGsの達成に向けてメディアの強みを活かしたSDGs啓発や取組実践とともに、広報展開

主な取組

Odigmeout (ディグミーアウト) ⇒ 和訳すると「私を見つけて」という意味

FM802とFM COCOLOのプロモーション活動に若手アーティストを起用し新しい活躍の場を提供する活動

メディアを通じた発信に加え、様々な大企業と若手アーティストとのコラボレーションを企画し、ラジオとアートを一体化したプロモーションを推進
スポンサーとのリレーション構築など、アーティストに活躍の場を提供する
アートイベント「UNKNOWN ASIA」には、国内外から300以上のアーティストが参加

○SDGs関連番組

- ・FM802「EVENING TAP」コマキ手帖 放送日時：毎週水曜 20時台
「身近なことから未来のために土台（生活を）耕していこう。」をコンセプトに、身近な取り組みから大きな取り組みまで、リスナーの皆さんと「未来への取り組み」を共有
- ・FM COCOLO「Whole Earth Radio」 放送日時：毎週日曜 6時
ローカルもグローバルも。さまざまなトピックを“Whole Earth”や“SDGs”の視点で考える1時間の特集プログラム



「ナマケモノにもできるアクション・ガイド」 (国連広報センター)



レベル1
ソファに寝たまま
できること



レベル2
家においても
できること



レベル3
家の外でもできること



レベル4
職場でもできること



- 「持続可能な開発目標（SDGs エス・ディー・ジーズ）」は、世界を変えるための壮大な目標で、その実現には世界が力を合わせる必要がある
- 地球上の私たち一人ひとりが、一緒になって問題を解決することができ、日常生活で簡単に取り入れられる行動も存在
- 「ナマケモノにもできるアクション・ガイド」は、世界を変えるためにできることを4つのレベル別に紹介

※ 資料：国連広報センター


https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/24082/



「ナマケモノにもできるアクション・ガイド」 (国連広報センター)


◆アクションの具体例 (抜粋)

レベル1
ソファに寝たまま
できること




- ・電気を節約しよう。
- ・印刷はできるだけしない。
- ・照明を消そう。

レベル2
家についても
できること




- ・髪の毛や衣服を自然乾燥させよう。
- ・できるだけ簡易包装の品物を買おう。
- ・照明を消そう。

レベル3
家の外でも
できること

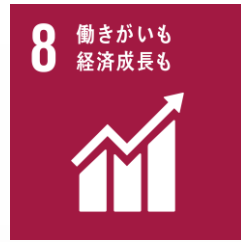


- ・買い物は地元で。
- ・買い物にはマイバッグを持参しよう。
- ・詰め替え可能なボトルやコーヒーカップを使おう。

レベル4
職場でも
できること



- ・若者の相談相手になろう。
- ・社内の冷暖房装置は省エネ型に。
- ・通勤は自転車、徒歩または公共交通機関で。



ご清聴ありがとうございました。

【お問い合わせ先】

大阪府 政策企画部 企画室 推進課

TEL:06-6941-0351

Mail: osaka_SDGs@gbox.pref.osaka.lg.jp

大阪府 SDGs



⇒ HP「大阪府／大阪府におけるSDGsの取組み」

